

我が国周辺水産資源調査・評価等推進事業のうち漁場形成・漁況予測事業

定置網漁獲統計調査

久野 正博・岡田 誠

目的

定置網に関する詳細な漁海況情報を蓄積することにより、資源管理を行っていくための基礎資料とする。

方法

三重県内の大型定置網漁場のうち、波切・片田・和具・阿曾・贅浦・方座・錦・長島・島勝・九鬼1号・九鬼2号・早田・梶賀・阿田和1号・阿田和2号の15漁場を対象に平成28(2016)定置年度(平成28(2016)年10月～平成29(2017)年9月)の魚種別漁獲量を調査した。

結果

詳細については平成28定置年度三重県ブリ定置漁獲統計で報告したので、以下は結果の概略を示す。

平成28(2016)定置年度の総漁獲量は7,856トンで前年度の118%、過去10年平均の133%であった。魚種別ではブリ(6kg以上の銘柄)が2,374トンで全魚種の30.2%を占めた。次いでワラサ(2～6kgの銘柄)1,905トン、サバが778トン、マアジ607トン、マイワシ326トン、カタクチイワシ281トンの漁獲があり、上位6種で全体の約8割を占めた。

漁獲量10トン以上の魚種の中で前年度と比較して漁獲が増加したのは、マルアジ(前年度比5.3倍)、アオリイカ(同3.3倍)、イナダ(0.5～2kgの銘柄)(同3.3倍)、ヒラマサ(同2.9倍)、トビウオ(同2.6倍)、カンパチ(同2.1倍)、フグ類(同1.8倍)、ヒラソウダ(同1.8倍)、ブリ(6kg以上の銘柄)(同1.7倍)、ワラサ(2～6kgの銘柄)(同1.6倍)等であった。逆に減少した魚種は、マルソウダ(前年度比26%)、シイラ(同32%)、ウスバハギ(同39%)、サワラ(同45%)、スルメイカ(同45%)、タチウオ(同49%)、サバ(同61%)、イサキ(同71%)、マダイ(同85%)、ムツ(同86%)、メジナ(同88%)等であった。

ブリ(6kg以上)の全漁獲尾数は、336,467尾(前年度比1.72倍)で、近年では記録的な豊漁であった平成26(2014)定置年度にはわずかに及ばなかったが、過去50年で2番目に多い漁獲尾数であった。ブリのまとまった入網は春季に集中してみられた。3月中旬から4月下旬が漁獲のピークで、4月だけで全体の51%、3月～4月では全体の91%が漁獲された。全漁場合計の1日の最高漁獲

表1. 全漁場魚種別漁獲量

平成28(2016)年10月～平成29(2017)年9月			
順位	魚種名	漁獲量(kg)	相対度数(%)
1	ブリ	2,374,145	30.222
2	ワラサ	1,904,698	24.246
3	サバ	778,215	9.906
4	マアジ	607,383	7.732
5	マイワシ	325,993	4.150
6	カタクチイワシ	280,655	3.573
7	イナダ	196,171	2.497
8	イサキ	115,004	1.464
9	マルアジ	114,183	1.454
10	シイラ	98,507	1.254
11	ヒラソウダ	91,270	1.162
12	その他アジ類	79,038	1.006
13	カマス	78,017	0.993
14	ウルメイワシ	54,466	0.693
15	マダイ	45,721	0.582
16	スルメイカ	42,672	0.543
17	イシダイ	37,391	0.476
18	アオリイカ	35,809	0.456
19	ヒラマサ	35,228	0.448
20	その他イカ類	34,424	0.438
21	マルソウダ	33,351	0.425
22	ムツ	31,831	0.405
23	カンパチ	31,177	0.397
24	フグ類	29,032	0.370
25	サワラ	28,009	0.357
26	メジナ	27,887	0.355
27	タチウオ	22,783	0.290
28	トビウオ	19,009	0.242
29	イワシ類	18,333	0.233
30	マグロ類	18,024	0.229
31	ウスバハギ	17,144	0.218
32	ヒラメ	16,283	0.207
33	カワハギ	11,485	0.146
34	スズキ	6,621	0.084
35	ヨコワ	5,319	0.068
36	ボラ	4,098	0.052
37	ウマヅラハギ	3,576	0.046
38	カジキ類	3,341	0.043
39	ヤリイカ	2,205	0.028
40	ハガツオ	1,522	0.019
41	シマアジ	633	0.008
42	その他雑魚	195,027	2.483
	合計	7,855,675	100.000

尾数は、4月17日の21,301尾、次いで4月12日の18,645尾、4月16日の18,304尾、3月27日の16,744尾、3月20日の16,481尾、4月13日の16,010尾であった。他に4月20日、3月23日、4月10日、3月26日、4月19日に1万尾以上の漁獲があった。

ワラサ（2～6 kg未満）の全漁獲尾数は375,539尾（前年度比1.63倍）で、過去50年で最高の漁獲尾数であった。ワラサの入網は4月下旬～5月上旬に集中し、4月だけで全体の59%、4月～5月では全体の86%が漁獲された。全漁場合計の1日の最高漁獲尾数は、4月23日の34,857尾であった。次いで4月30日の29,299尾、4月21日の27,948尾、4月24日の25,010尾、4月20日の

24,342尾であった。他に5月1日、4月26日、4月19日に2万尾以上の漁獲があった。

イナダ（0.5～2 kg）の全漁獲尾数は202,174尾（前年度比3.9倍）、当歳魚が主体となる8月～9月を入れない集計期間では100,510尾（前年度比5.5倍）であった。低調であった前年度から一転し、過去50年で3番目の好漁であった。また、当歳魚は過去10年で2番目の好漁であった。

関連報文

三重県（2018）：平成28定置年度 三重県ブリ定置漁獲統計。